Panasonic®

ポータブルビデオ CD プレーヤー

品番 SL-VP50

取扱説明書

このたびは、ポータブルビデオ CD プレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みの上、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

COMPACT disc DIGITAL VIDEO　COMPACT disc DIGITAL AUDIO

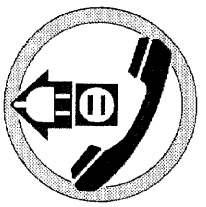
RQT2872-2S

⚠必ずお守りください

ACアダプター

- **ACアダプターは正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると危険です。**
  - ぬれた手でさわらない
  - 重いものを載せない
  - 無理に曲げない
- **ACアダプターは、必ず付属のものをご使用ください。**
- **長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。**

万一故障が起きたら



ACアダプターまたはカーアダプターを抜き、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本体

- **加工・改造はしない**
  故障の原因になります。
- **落としたり、強い衝撃をあたえない**
  破損することがあります。
- **長時間直射日光の当たる場所に放置しない**
  キャビネットが変形・変色したり、故障することがあります。
- **避けてほしい場所は**
  次のような所で使用すると故障の原因になります。
  1　風呂場など、湿気の多い所
  2　倉庫など、ほこりの多い所
  3　暖房器の近くなど、温度が高い所

特長 (裏表紙の用語解説も併せてお読みください)

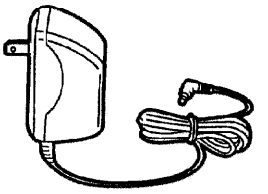
本機は、Play Back Control（プレイバックコントロール）対応のポータブルビデオCDプレーヤーです。
次のようなディスクが楽しめます。

ディスクの種類			
ビデオCD (動画＋音声)	COMPACT disc DIGITAL VIDEO　VIDEO CD このマークのついたビデオCDの再生が可能です。	バージョン2.0	Play Back Control対応で、動画再生に加え、メニューと高精細静止画再生が可能です。
		バージョン1.0 バージョン1.1	Play Back Controlなし。動画再生のみ可能です。
音楽用CD (音声のみ)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO		音声の再生のみ可能です。

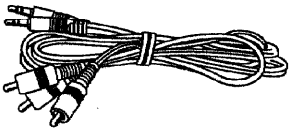
付属品

まず付属品を確かめてください。

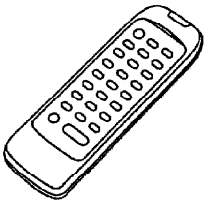
☐ 専用ACアダプター……1



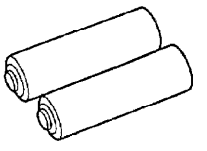
☐ 接続コード……1



☐ リモコン（RAK-SL411WH）‥1



☐ リモコン用乾電池（単4形）‥2



もくじ

操作の前に

電源の準備……4
リモコンの準備……5
各部のなまえ……6
はじめに……7

すぐ使う（基本の再生）

ビデオCD（プレイバックコントロール Play Back Control 付き）を楽しむ‥8
音楽用CD、ビデオCD（プレイバックコントロール Play Back Control なし）を楽しむ‥10

じっくり使う（応用の再生）

リモコンでいろいろな再生を楽しむ‥12
見たい場面を探す……12
コマ送り再生する……13
くり返し再生する……14
好みのトラックを予約順に再生する‥15
好みのトラックから再生する‥16
音声を切り換えて楽しむ……16

ご参考

別売り品と組み合わせて使う‥‥17
使用上のご注意……18
故障かな!?……19
お手入れ……19
ビデオCD、音楽用CDについて‥20
定格……21
テレビへの画面表示について‥‥22
保証とアフターサービス……24
用語解説……裏表紙

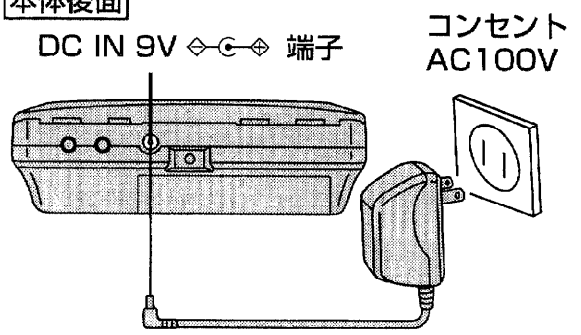
電源の準備

乾電池及び充電式電池使用時の再生時間は、定格（21ページ）を参照してください。

ACアダプターで使うには

必ず付属のACアダプターを接続します。

本体後面

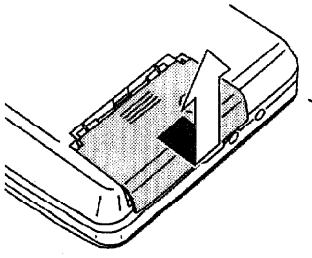


乾電池で使うには（別売り）

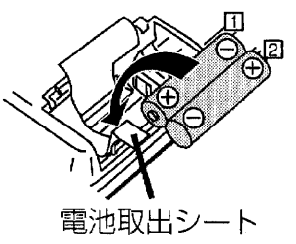
乾電池（別売り：単3形6本）を本体に入れます。ACアダプターを接続しているときは、必ずはずしておいてください。

本体裏面

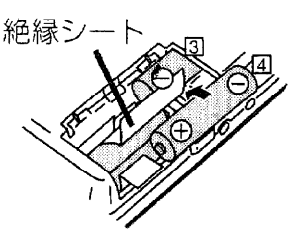
①手前に引き、ふたを開ける



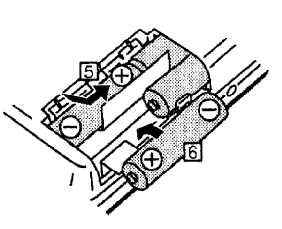
②電池取出シートだけを敷いて電池1 2を入れる



③絶縁シートを敷いて3を入れ、シートを立てて4を入れる



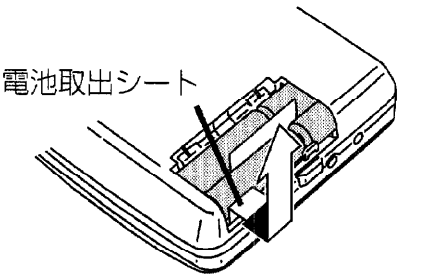
④電池5 6を順に入れる



ふたがはずれたときは、水平に押し込んでください。

■乾電池の取り出しかた

電池取出シートを引っぱって電池を浮かせ、指で取り出します。



電池使用上のご注意（18ページ）を参照してください。

充電式電池で使うには（別売り）

必ず充電してから使用してください。

1　専用充電式電池を本体に入れる

専用充電式電池以外は充電できません。電池の出し入れは、乾電池と同じです。（別売り品 RP-BP120HD/RP-BP60D：3パック　計6本）

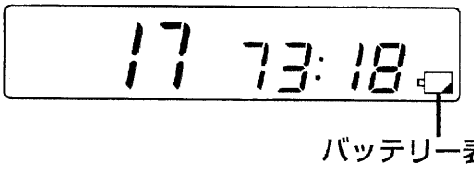
2　ACアダプターを接続する（上図参照）

充電を始めると、充電表示 C が点滅します。約6時間で充電表示が消えると、充電完了（フル充電）です。（RP-BP120HD使用時）

3　充電終了後、ACアダプターをDC IN端子とコンセントから抜く

- 電源切状態（9ページ）でのみ充電ができます。
- 充電中にACアダプターと充電式電池は少し熱を持ちますが、異常ではありません。
- 毎日の使用で、約10カ月（300回）使用できます。使用時間が著しく短くなったときは充電式電池の寿命です。

■バッテリー表示について



電池が消耗したときに点滅し、しばらくすると自動的に電源が切れます（点滅してからの再生時間は、電池の種類によって異なります）。

種類	処置
乾電池	新しい乾電池と取り替えてください。
充電式電池	改めて充電してください。

当社指定以外の充電式電池を使用すると、バッテリー表示が点滅しないことがあります。

カーアダプターで使うには（別売り）

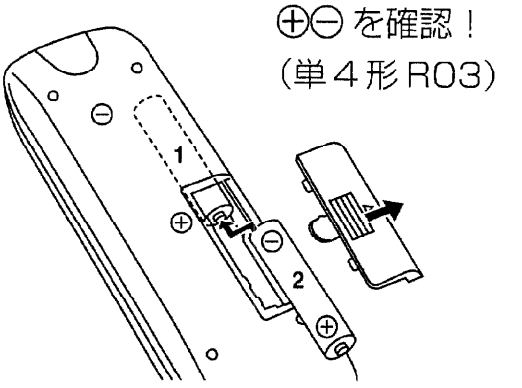
必ず別売りのカーアダプター（SH-CDC50）を使用してください。

カーアダプターを使って自動車内で充電することもできます。

長時間ACアダプターで使用されないときは、本体の電源を切りACアダプターをコンセントから抜いてください。電源切ボタンで電源を切っただけでは約1.9Wの電力を消費しています。

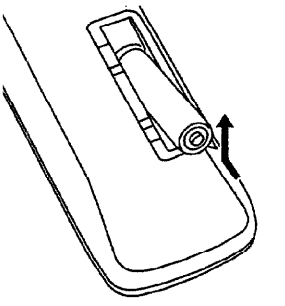
リモコンの準備

■乾電池の入れかた

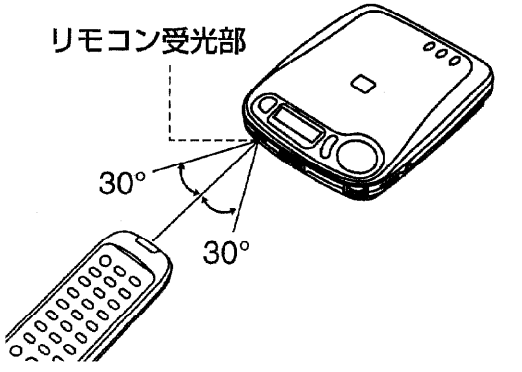


■出しかた

矢印の方向に押しながら、持ち上げて取り出す。

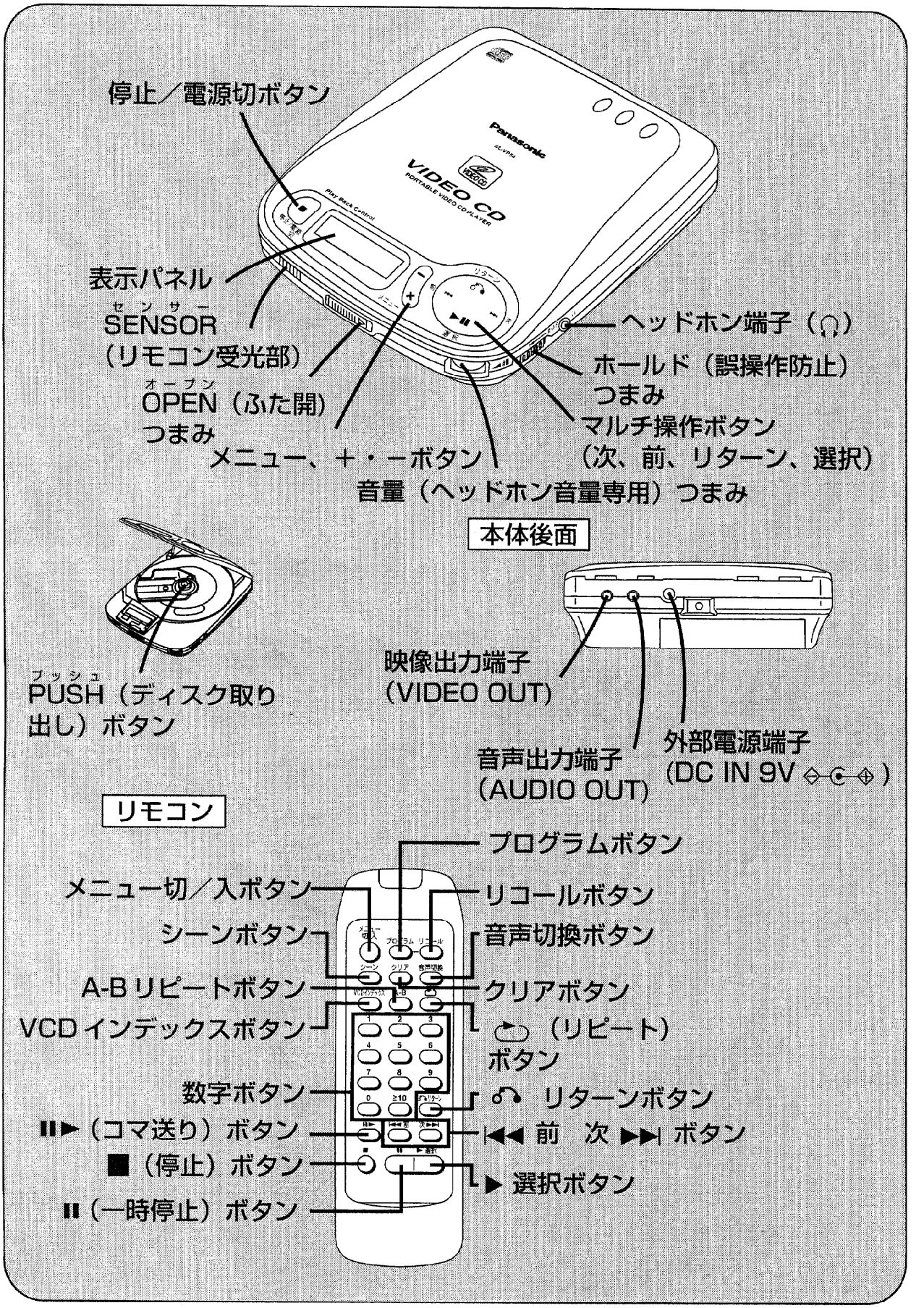


■リモコンの使用範囲



- リモコン受光部から7 m以内で使用してください。
- リモコン受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- リモコン受光部とリモコン先端のほこりに注意。
- 直射日光の当たる場所や、自動車内で高温になるところに放置しないでください。

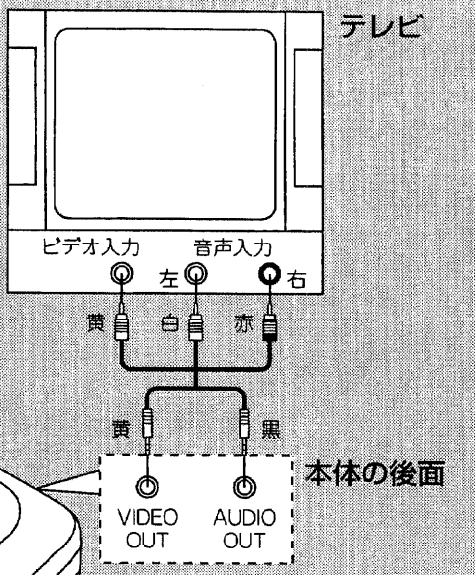
各部のなまえ

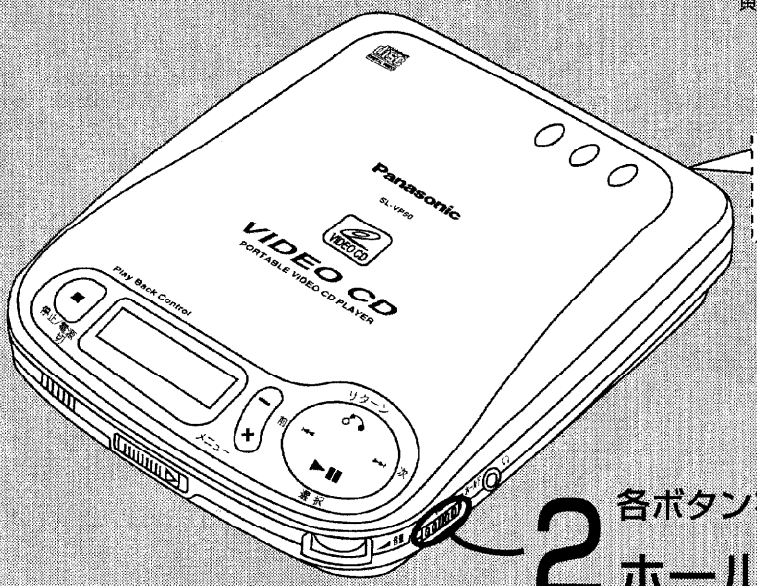

停止／電源切ボタン
表示パネル
SENSOR（センサー）
（リモコン受光部）
OPEN（オープン）（ふた開）
つまみ
メニュー、＋・－ボタン
音量（ヘッドホン音量専用）つまみ
ヘッドホン端子（🎧）
ホールド（誤操作防止）
つまみ
マルチ操作ボタン
（次、前、リターン、選択）
PUSH（プッシュ）（ディスク取り出し）ボタン
本体後面
映像出力端子
（VIDEO OUT）
音声出力端子
（AUDIO OUT）
外部電源端子
（DC IN 9V ⟐⊙⟐）
リモコン
プログラムボタン
メニュー切／入ボタン
リコールボタン
シーンボタン
音声切換ボタン
A-Bリピートボタン
クリアボタン
VCDインデックスボタン
（リピート）ボタン
数字ボタン
リターンボタン
▮▮►（コマ送り）ボタン
|◄◄ 前　次 ►►| ボタン
■（停止）ボタン
▶ 選択ボタン
▮▮（一時停止）ボタン

はじめに

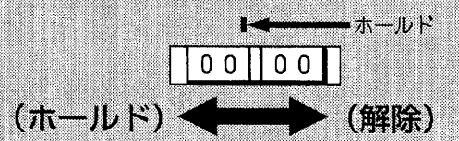
1 ビデオCDを使うときは テレビに接続する

接続コード（付属）を使用してください。





2 各ボタンを操作する前に ホールド状態を解除する



ビデオCDの録音レベルは、一般に低めに設定されています。このため、テレビのテレビ／ビデオ入力を「テレビ」に切り換えるときは、あらかじめ音量を下げておいてください。

■誤操作防止機能について（ホールド）

誤って操作ボタンが押されても、受け付けないようにする機能です。
次のようなことを防ぎたいときに使用してください。

例1：使用していないときに電源が入り、電池が消耗する。

例2：使用中に誤ってボタンが押され、再生が中断してしまう。

●誤操作防止機能を使うには

ホールドつまみをホールド状態にする（リモコンでの操作は、電源の入／切以外は可能です）。

“hold” 表示について

ホールド状態のときに、本体の操作ボタンを押すと表示します。

電源切状態のときは

「▶II」を押したときだけ表示します。

ビデオCD（プレイバックコントロール）(Play Back Control付き)を楽しむ

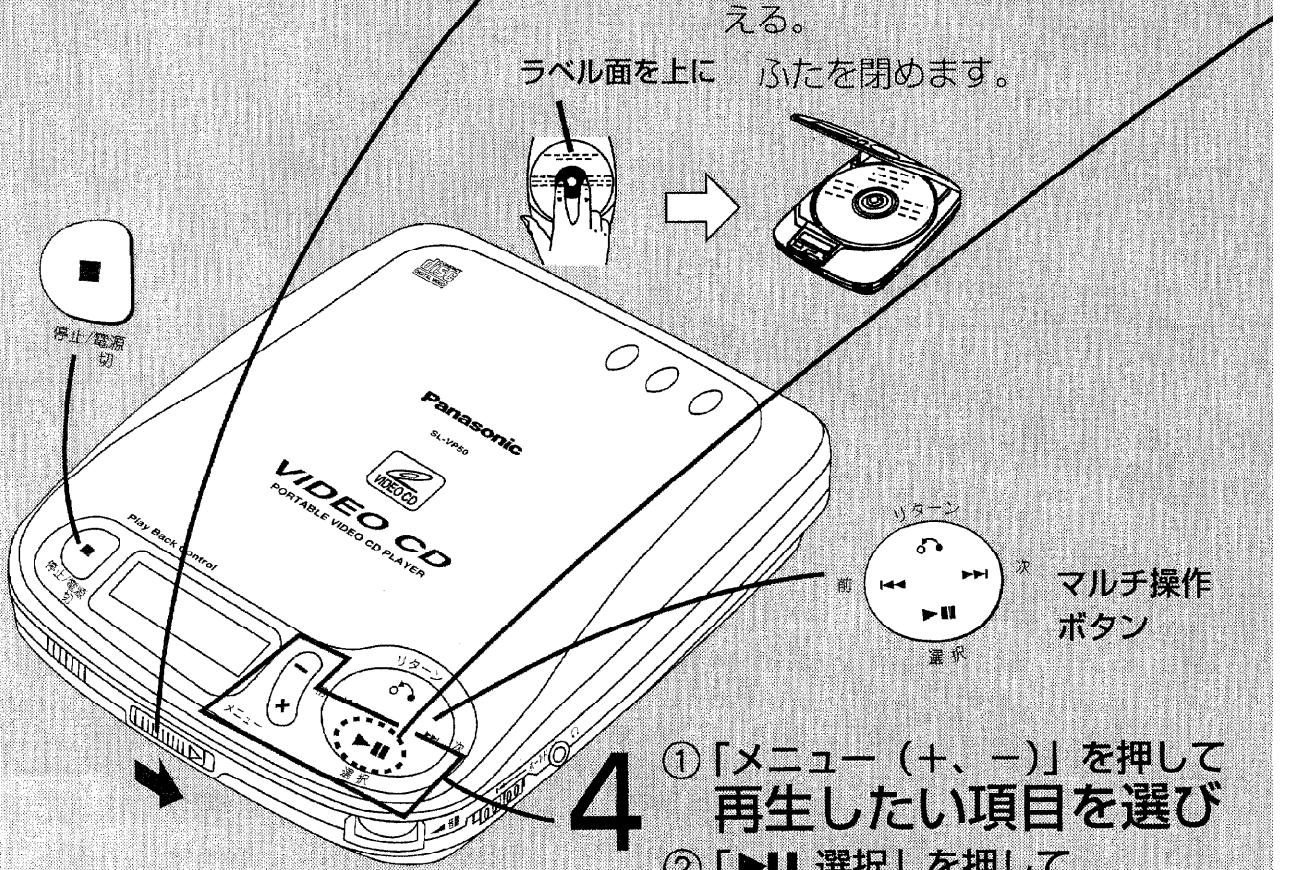
Play Back Control付きビデオCD専用の再生方法です。「Play Back Control対応」と記されたビデオCDを再生すると、本機は自動的にメニュー再生になります。「Play Back Control対応」と記されていないビデオCDは10ページの通常再生で再生してください。

1 テレビの電源を入れ、ビデオ入力に切り換える

2 「OPEN」を動かしてふたを開け、ビデオCDを入れる

カチッと音がするまで、ディスクの中央穴付近を指で押さえる。

ラベル面を上に　ふたを閉めます。



4 ①「メニュー（＋、－）」を押して再生したい項目を選び ②「▶II 選択」を押して再生を始める

メニュー＋：数字の大きいほうへ
メニュー－：数字の小さいほうへ
メニュー番号の表示のあと、再生が始まります。
高精細静止画も自動的に識別して再生します。

5 テレビの音量を調節する

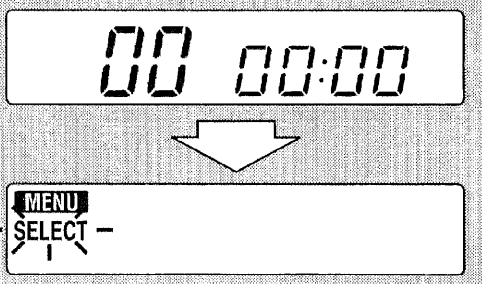
本体の音量つまみはヘッドホン専用です。

メニュー再生

用語解説：裏表紙

3 「▶II」を押す

自動的に電源が入り、テレビにメニューが表示されます。（ディスクによっては、すぐに表示されないものもあります。）メニューはディスクによって異なります。



メニューの構造は、ディスクによって異なります。お手持ちのディスクの説明書や画面表示に従ってメニューを選んでください。

ご参考

- テレビへの画面表示については22～23ページを参照してください。
- メニュー番号は、リモコンの数字ボタンで選ぶこともできます。

マルチ操作ボタンの使いかた	前のメニューに戻るには	↩
	次に進むには	▶▶I 次
	前に戻るには	前 I◀◀
再生中の操作	**一時停止するには** 再生中に、押す。 再生するには、もう一度押します。	▶II
	停止するには 再生中に、押す。 停止状態になります。	■
	電源を切るには 停止状態で、押す。 **電源切状態**になります。	■
	前後にとび越すには（スキップ） **[通常再生時のみ]**	前 I◀◀ ▶▶I 次 （もどる）（すすむ） 再生中に、ポンと押す
	早送り・早戻しするには （サーチ）	前 I◀◀ ▶▶I 次 （もどる）（すすむ） 再生中に、押し続ける

ご注意

- 再生中に「▶II」を押しても、メニューの中の動画部分は一時停止しません。
- スライドショーのサーチはできません。

メニュー再生／通常再生を切り換えるには（リモコンのみ）

「メニュー切／入」を押す。

- 通常再生については10ページを参照してください。
- 電源を入れた直後は常にメニュー再生になります。

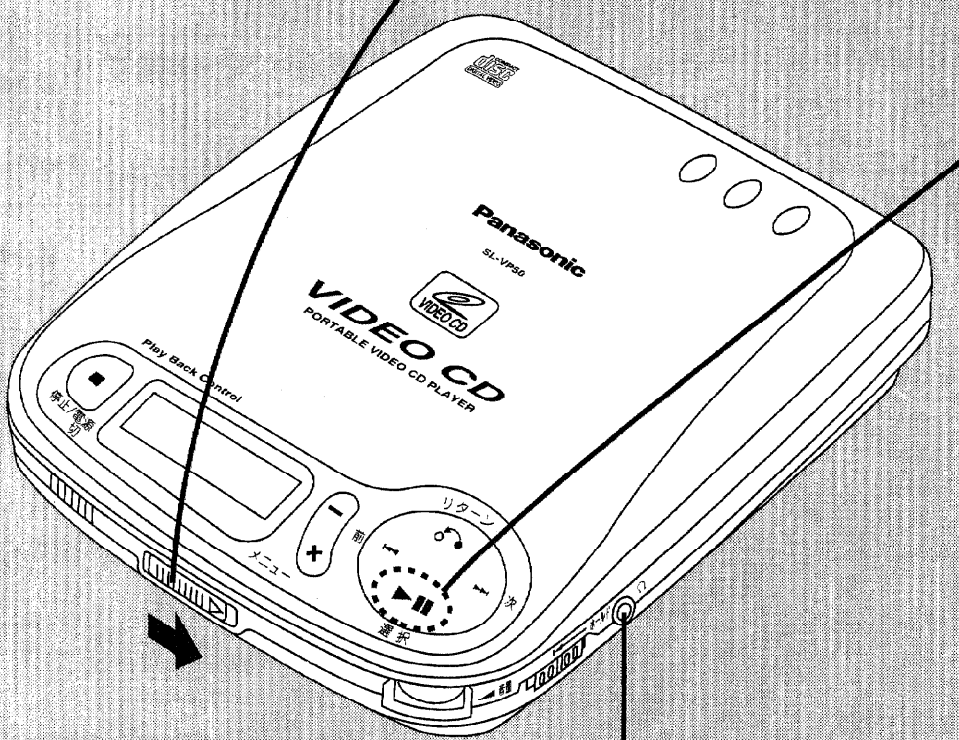
音楽用CD,ビデオCD（プレイバックコントロール Play Back Control なし）を

ディスクの最初から順に再生していく方法です。 Play Back Control 付きビデオCDは、通常再生でも再生できますが、一部の動画と静止画が再生できません。メニュー再生をお使いください。

1 ビデオCDのみ
テレビの電源を入れ、ビデオ入力に切り換える

2 「OPEN」を動かして
ふたを開け、ディスクを入れる

ふたを閉めます。



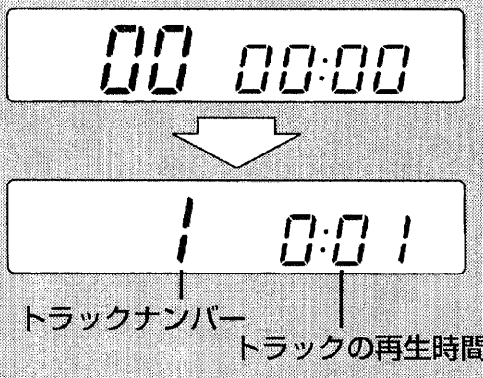
ヘッドホンで聞くには
- 接続するときは、本体の音量つまみで音量を下げておいてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。
- プラグタイプ：ステレオミニ（M3）

楽しむ 通常再生

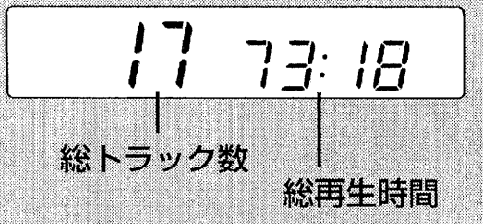
用語解説：裏表紙

3 「▶II」を押す

自動的に電源が入り、最初から順に再生が始まります。



全トラックの再生が終わると、自動停止します。

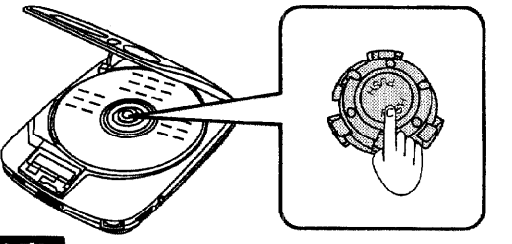


4 ビデオCDのみ テレビの音量を調節する

本体の音量つまみはヘッドホン専用です。

■ディスクを取り出すには

ディスクの回転が停止したあと、「PUSH」を押してディスクの固定を解除してください。



ご注意

再生中は、ふたを開けないでください。

■オートパワーオフ機能について

停止状態で約10分間放置すると、充電式電池などの消耗を避けるため、自動的に電源が切れる機能です。

■"no（ノーディスク） dISC" 表示について

ディスクが入っていないとき、またはディスクが不完全な状態で「▶II」を押すと、約30秒間表示します。ディスクやレンズが汚れているときも、この表示が出ます。

■"OPEN" 表示について

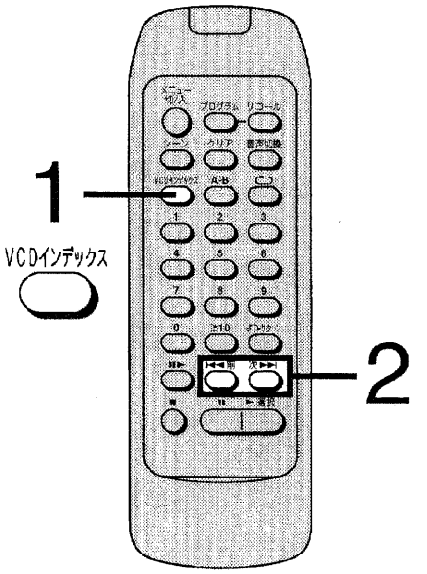
ふたを開けると、約10分間表示してから、電源が切れます（電源切時を除く）。

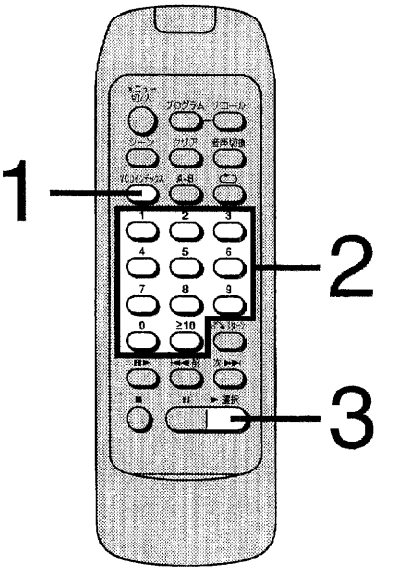
■バックライトについて

ACアダプター/カーアダプター使用時のみ、表示パネルにバックライトが点灯します。

リモコンでいろいろな再生を楽しむ

ビデオCD専用



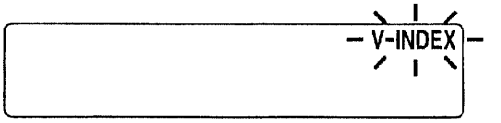


見たい場面を探す

■ビデオインデックスナンバーで探すには（ビデオインデックスサーチ）用語解説：裏表紙

ビデオインデックスナンバーを選んで、1トラックの中の見たい場面を探すことができます。ビデオインデックスの記録されているビデオCDでのみ可能です。

1　再生中に、「VCDインデックス」を押す



2　「I◀◀ 前」または「次 ▶▶I」で、好みのビデオインデックスナンバーを選ぶ

選んだビデオインデックスから再生が始まります。

●解除するには

もう一度、「VCDインデックス」を押す。

●数字ボタンで探すには

1.「VCDインデックス」を押す。
2. 数字ボタンで、好みのビデオインデックスナンバーを選ぶ。
3.「**▶ 選択**」を押す。
選んだビデオインデックスから再生が始まります。

10以上のビデオインデックスナンバーを選ぶには

数字ボタンを順に押す。

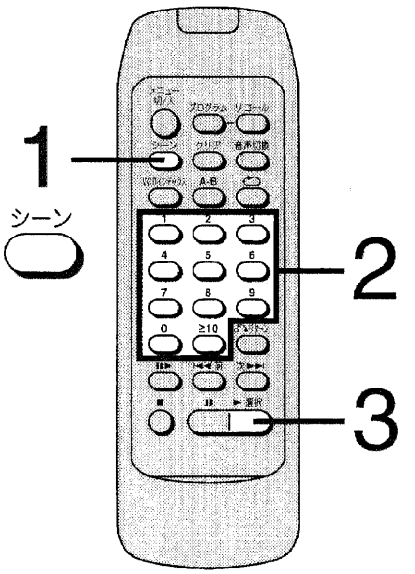
例）15：1→5
　　24：2→4

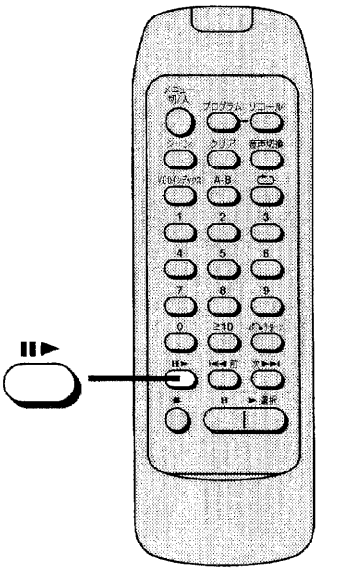
まちがえたときは「クリア」で取り消せます。

ご注意

- ビデオインデックスサーチは、再生中のトラックの中でのみ可能です。
- 動画でもビデオインデックスサーチができないことがあります。

ビデオCD専用



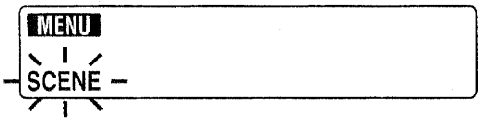


■シーンナンバーで探すには（シーン再生）

用語解説：裏表紙

シーンナンバーを選んで、見たい場面を探すことができます。
シーンナンバーはディスクの説明書を参照してください。
Play Back Control付きビデオCDで、メニュー再生時のみ可能です。

1 「シーン」を押す



2 数字ボタンで、好みのシーンナンバーを選ぶ

3 「▶ 選択」を押す

●解除するには

もう一度、「シーン」を押す。

10以上のシーンナンバーを選ぶには

数字ボタンを順に押す。

例）15　：1→5
　　208：2→0→8

コマ送り再生する

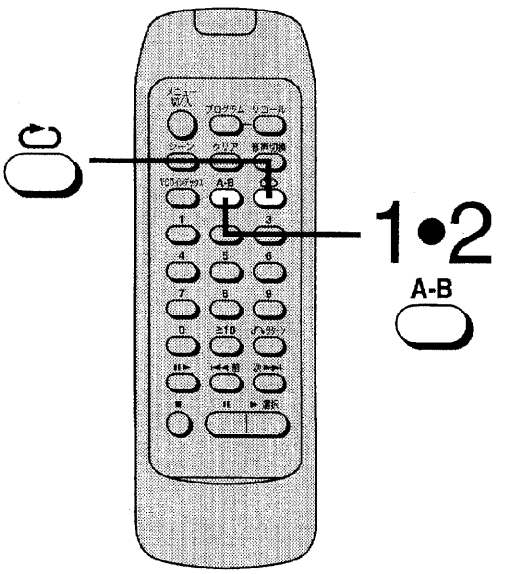
再生中に、「II▶」をポンポンと押す

押すたびに、1コマずつ動きます。
長押しすると、連続コマ送りになります。

●解除するには

「**II（一時停止）**」を押す。

ビデオCD、音楽用CD



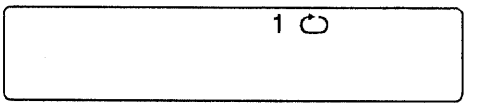
くり返し再生する

準備：リモコンの「メニュー切／入」を押して通常再生にする。

■1トラックをくり返すには（1トラック・リピート）

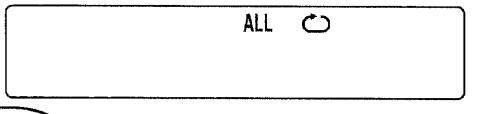
停止中または再生中に、「↻」を1回押す

押すたびに　1 ↻ → ALL ↻
↳ 消灯（OFF）↵



■全トラックをくり返すには（オール・リピート）

停止中または再生中に、「↻」を2回押す



ご参考

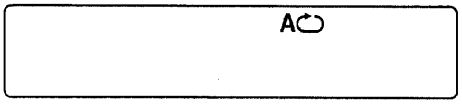
プログラムプレイ中は、予約したトラックだけをくり返します。

●解除するには

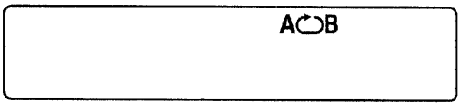
「↻」を押して、消灯（OFF）にする。

■好みの部分をくり返すには（A-Bリピート）

1　再生中に、くり返しの始点（A）で「A-B」を押す



2　くり返しの終点（B）で「A-B」を押す



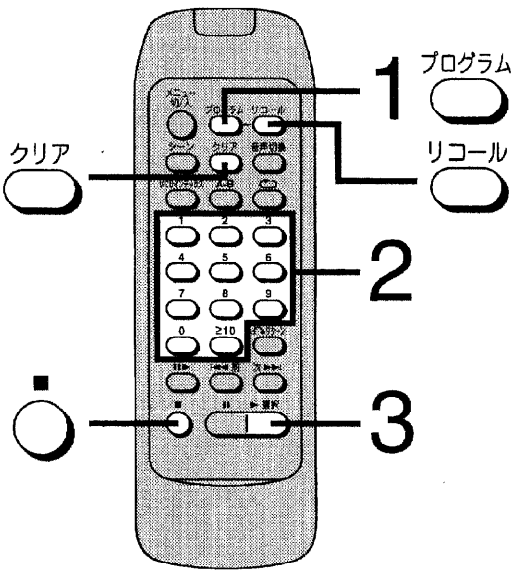
●解除するには

もう一度、「A-B」を押す。

ご注意

- プログラムプレイ中は、A-Bリピートはできません。
- トラック間をまたぐA-Bリピートはできません。
- ビデオCDの場合、約2秒以内のA-Bリピートはできません。

ビデオCD、音楽用CD

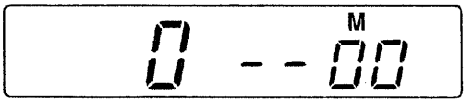


好みのトラックを予約順に再生する（プログラムプレイ）

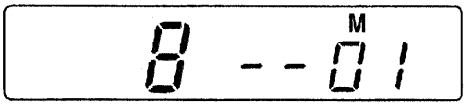
最大24トラックまで予約できます。

準備：①リモコンの「メニュー切／入」を押して通常再生にする。
②停止状態にする。

1 「プログラム」を押す



2 数字ボタンで、好みのトラックナンバーを順に押す



10以上のトラックナンバーを選ぶには

≥10を押してから、数字ボタンを押す。

例）15：≥10→1→5
　　20：≥10→2→0

3 「▶ 選択」を押す

予約順に再生が始まり、予約した全トラックの再生が終了すると自動停止します。

●解除するには

もう一度、「プログラム」を押す。

"F" 表示について

予約数が25以上になったことを表しています。

■予約内容を確認するには

「リコール」を押す。予約したトラックが順に表示されます。

■予約したトラックを取り消すには

「クリア」を押す（再生中は2度押す）。最後に予約したトラックが取り消されます。

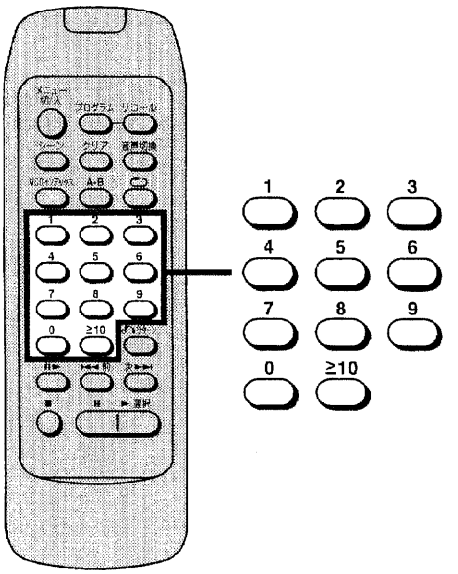
■予約をすべて取り消すには

「■」を押す。

ご参考

プログラムプレイ中にトラック・スキップすると、予約した曲の順序で前後にとび越します。

ビデオCD、音楽用CD



好みのトラックから再生する（ダイレクトプレイ）

準備：①リモコンの「メニュー切／入」を押して通常再生にする。
②停止状態にする。

数字ボタンで、好みのトラックナンバーを選ぶ

選んだトラックから最終トラックまで、順に再生して自動停止します。

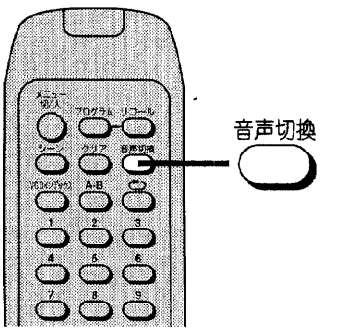
10以上のトラックナンバーを選ぶには

≥10を押してから、数字ボタンを押す。

例）15：≥10→1→5
20：≥10→2→0

音声を切り換えて楽しむ

音声多重ディスクを使用しているとき、ボーカルを消したり、伴奏を消したりすることができます。

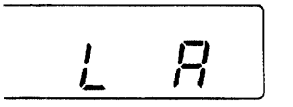


「音声切換」を押す

1回押すと現在の状態を表示し、続けて押すと音声が次のように切り換わります。

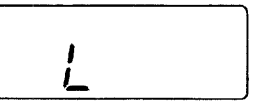
•LR：伴奏＋ボーカル

伴奏（主音声）が左、ボーカル（副音声）が右から聞こえます。



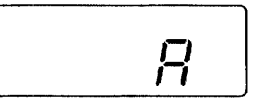
•L：伴奏だけの演奏

ボーカルが消え、伴奏（主音声）だけが聞こえます。



•R：ボーカルだけの演奏

伴奏が消え、ボーカル（副音声）だけが聞こえます。



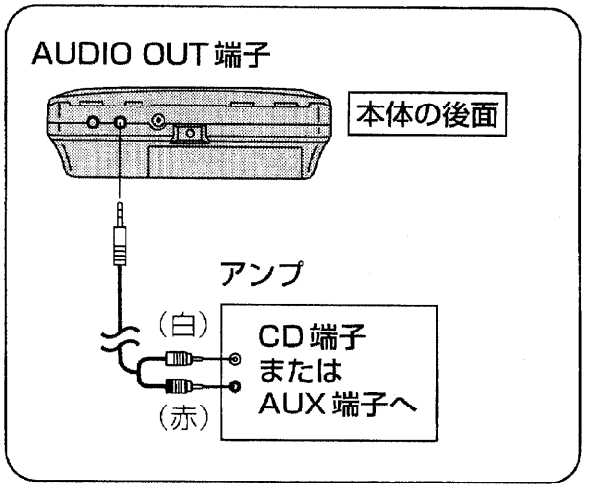
（ディスクによっては、伴奏が消えないものもあります）

ご参考

本体のふたを開閉しても、選んだ音声モードはメモリーされています。

別売り品と組み合わせて使う

オーディオシステムに接続する

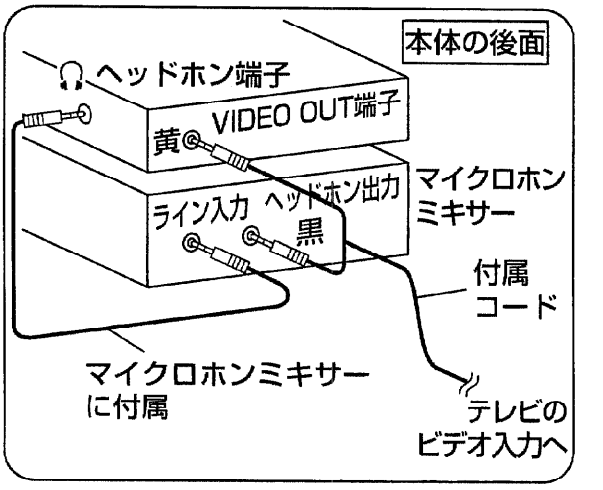


- 音量はアンプで調整してください。
- アンプのアナログプレーヤー(PHONO)端子には接続しないでください。
- 付属の接続コードの黄色のプラグ(映像用)を接続せずに、音声のみで使用することもできます。
- アンプがミニホンジャック付きのときは、接続コード(別売り、RP-CA102A)をお求めください。
- アンプ内蔵のスピーカーと接続するときは、ヘッドホン端子(🎧)に接続してください。

ご参考

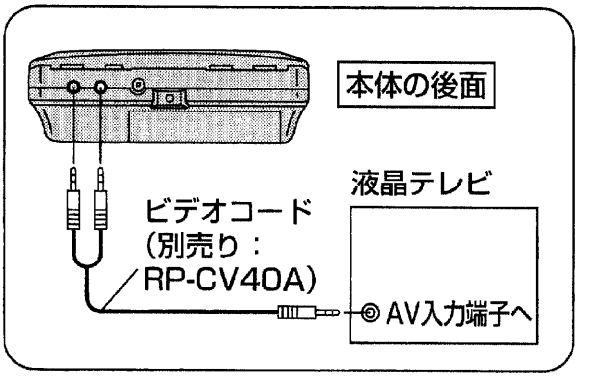
オーディオシステムにマイクを接続すると、リモコンの「音声切換」を切り換えることでカラオケが楽しめます。

マイクロホンミキサーに接続する



- マイクロホンミキサー(別売り:推奨品RP-MX50)に接続することで、2本のマイクを使ったエコー付きのカラオケが簡単に楽しめます。
- 詳しくはRP-MX50の取扱説明書を参照してください。

ポータブル液晶テレビに接続する



- 接続にはビデオコード(別売り:RP-CV40A)をお使いください。
- 同コードが使用できない機種もあります。詳しくは液晶テレビの入力端子を確認してください。

使用上のご注意

充電式電池

- RP-BP120HD/RP-BP60D以外は充電できません。
- 充電しても電池持続時間が極端に短い場合は、電池の寿命です。使用しないでください。
- 充電した電池をフル充電の状態で充電すると、寿命が短くなります。
- 初めて充電するときや、長時間使用しなかった後は、充電しても通常の再生時間より短いことがあります。そのときは、何度か充・放電させることで、通常の状態に戻ります。
- ショートの危険を避けるため、充電式電池の電極部には金属物が触れないようにしてください。
- 充電は、5℃～40℃の範囲で行ってください。

乾電池・充電式電池

電池の破損・液漏れなどの防止のために、次のことをお守りください。

- ＋プラス－マイナスは正しく入れる。
- 異種の電池や新旧電池、他社の電池はいっしょに使わない。
- 長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
- 火の中への投入やショート（短絡）、分解、加熱などはしない。
- 乾電池は充電しない。
- ショートの危険を避けるため、充電式電池のビニール（被覆）は、はがさない。
- 電池を本体に入れるときは、必ず絶縁シートが正しい位置にくるようにする（4ページ）。

乾電池・充電式電池の持ち運び

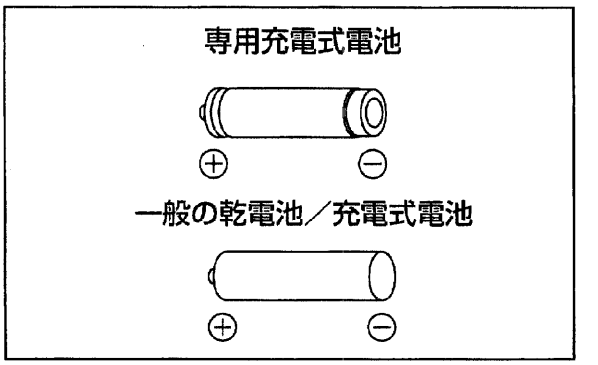
ポケットやかばんに入れるときは、ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。ショートし、発熱する恐れがあります。充電式電池は、必ず付属のケースに入れて持ち運んでください。

車を運転するときは

交通安全のため、運転中はポータブルビデオCDプレーヤーを操作したり、ビデオCDを見たりしないでください。

充電式電池をお求めになる場合は

当社のポータブルビデオCDプレーヤーは、安全確保のため、一般の電池が充電できない構造になっています。
ご使用の際は必ず専用の充電式ニッケル水素電池または充電式ニカド電池をお求めください。
専用充電式ニッケル水素電池：RP-BP120HD(2本組)
専用充電式ニカド電池：RP-BP60D(2本組)
詳しくは、お買い上げの販売店にご確認ください。



使用済みの充電式ニカド電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。

故障かな！？

修理を依頼する前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処　置
ふたが閉じない。	ディスクが正しく固定されていますか。	ディスクを正しく固定する。
再生できない。	ホールド状態になっていませんか。	ホールド状態を解除する。
	ディスクが固定されていますか。	ディスクを、カチッと音がするまで固定する。
	露がついていませんか。	約１時間後に使用する。
ディスクの取り出しができない。	ディスクが固定されていませんか。	「PUSH」を押して固定を解除する。
テレビに、ビデオCDの映像が映らない。	接続コードが、はずれていませんか。	接続コードを正しく接続する。
	テレビの入力切換が、「テレビ」になっていませんか。	入力切換を「ビデオ」に切り換える。
リモコン操作ができない。	乾電池の ⊕、⊖ が逆になっていませんか。	⊕、⊖ を正しく入れる。
	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。

お手入れ

本体のお手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水か石鹸水を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

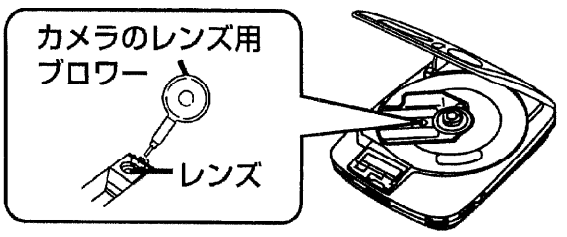
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その説明をご覧ください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。

レンズのお手入れ

ふたを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。

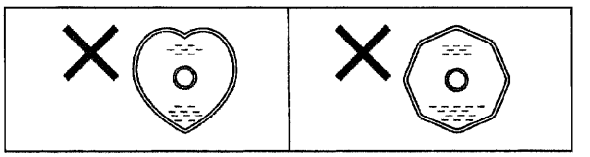
万一、指紋などがついた場合は、綿棒で軽くふいてください。

推奨品：レンズクリーナーキット (SZZP1038C)

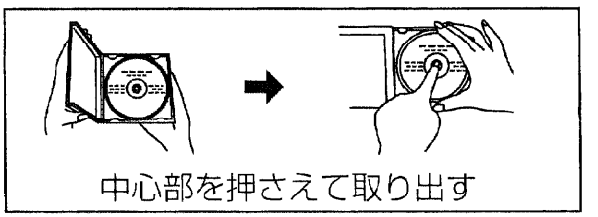


ビデオCD、音楽用CDについて

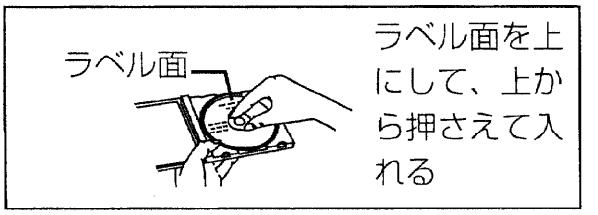
のマークが入ったものをご使用ください。
ただし、ハート型や八角形など、特殊形状のCDはご使用にならないでください。（機器の故障の原因となります）



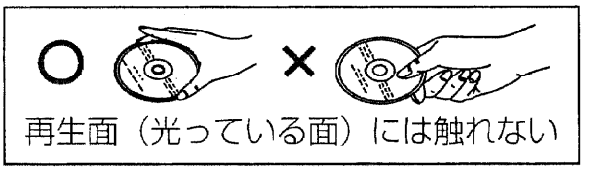
出し方



入れ方

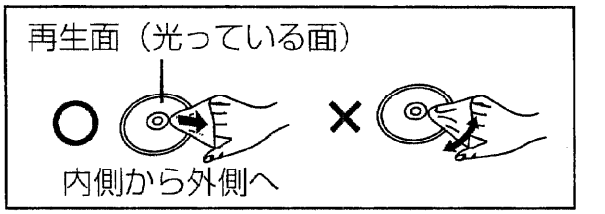


持ち方



汚れたときは

水を含ませた布でふき、後は空ぶきをしてください。



露がついたら

急に暖かい部屋に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

保管しておくとき

次のような場所はさけてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 自動車のダッシュボードの上やリヤウインドウの近く

取扱上のご注意

- ラベル面（字の書いてある面）には鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。紙やラベルなどを貼らないでください。
- ディスク面（光っている面）には指紋や傷をつけないよう大切に扱ってください。レコードクリーナーや溶剤などは用いないでください。

定格

■オーディオ部(CD-DA再生時)

チャンネル数： 2チャンネル(ステレオ)
周波数特性：
20Hz～20kHz (+0.5dB, −1.5dB)
出力電圧： 1.2Vrms (10kΩ負荷時)
SN比： 94dB以上(EIAJ)
ワウ・フラッター：
測定限界以下(EIAJ)
デジタルフィルター：
8倍オーバーサンプリング
DAコンバーター：
1ビット、MASH※ 4DAC
ヘッドホン出力レベル：
最大9mW+9mW/16Ω負荷 (可変)

■映像

出力信号方式： NTSC
出力電圧 ： 1Vpp (75Ω)

■信号フォーマット

標本化周波数： 44.1kHz

■ピックアップ

光源： 半導体レーザー
波長： 780nm

■総合

電源： DC9V
消費電力：ACアダプター 4.5W
電池 2.4W
寸法 (幅×高さ×奥行)
最大外形寸法：
135×43.5×162㎜(EIAJ)
本体寸法： 135×43×160㎜
質量(重量)： 580g (電池含む)
460g (電池含まず)
使用温度範囲： 0℃～40℃
充電温度範囲： 5℃～40℃

再生時間（単3形6本）

使用電池	再生時間
乾電池パナソニック アルカリ(LR6)	約5時間
充電式電池 RP-BP120HD 約6時間のフル充電時	約2時間30分

（ホールド状態で温度25℃水平に安定した状態で使用した時）
再生時間は使用条件によって短くなる場合があります。

この定格は、ACアダプターを使用して測定したものです。

この定格は、性能向上のため変更することがあります。

※MASHはNTTの登録商標です。

電源「切」時の消費電力：約1.9W (ACのとき)

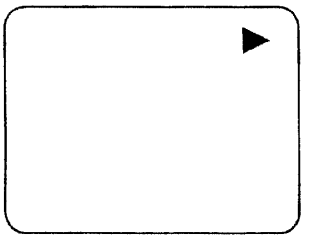
テレビへの画面表示について

□ は参照ページです。
(オン・スクリーン・ディスプレイ)

本機の動作状態をテレビ画面で確認することができます。表示は数秒で消えます。

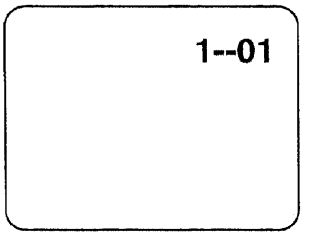
●再生を始めたとき

8～11



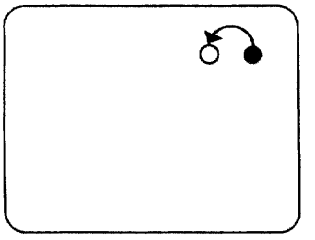
●トラックを予約したとき

15



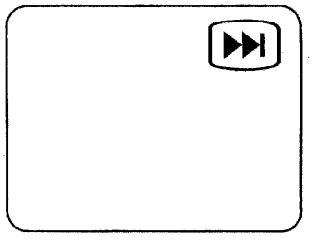
●前のメニューに戻ったとき（リターン）

9



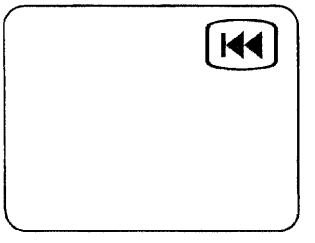
●次に進んだとき（次）

9



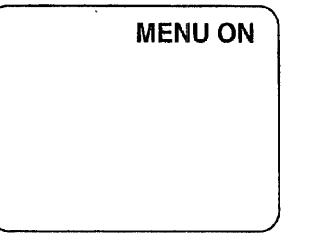
●前に戻ったとき（前）

9



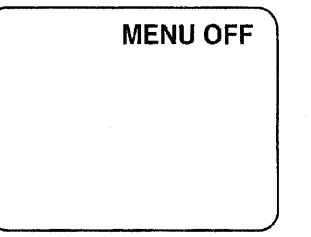
●メニュー再生にしたとき（メニュー・オン）

9



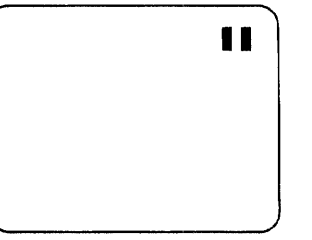
●通常再生にしたとき（メニュー・オフ）

9



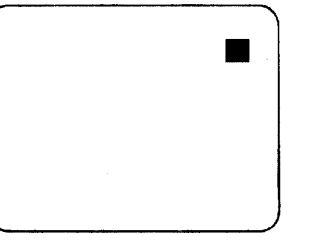
●再生を一時停止したとき

9



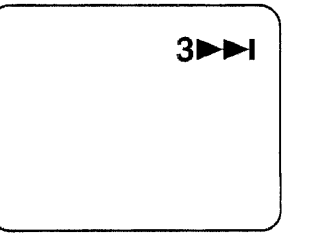
●再生を停止したとき

9



●トラック「3」に進んだとき（トラック・スキップ）

9



●トラック「3」に戻ったとき（トラック・スキップ）

9 3I◀◀

●1曲だけくり返したとき（1トラック・リピート）

14 1↻

●全曲をくり返したとき（オール・リピート）

14 ALL↻

●予約した曲をくり返したとき

14 ↻M

●くり返し再生を解除したとき

14 ↻OFF

●指定した部分をくり返したとき（A-Bリピート）

14 A↻B

●A-Bリピートを解除したとき

14 (消灯)

●音声を切り換えたとき

「伴奏＋ボーカル」

16 L R

•「伴奏」のみ

16 MONO L

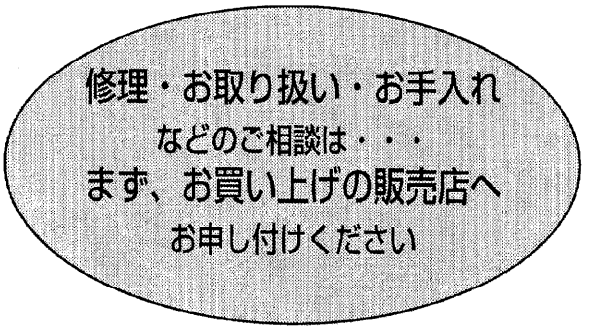
•「ボーカル」のみ

16 MONO R

■コマ送り再生、ビデオインデックスサーチ、シーン再生時などにも状態表示が出ます。また、ディスクによっていろいろな表示が出ます。

保証とアフターサービス

（よくお読みください）



転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、内容をよくお読みのあと、保存してください。

保証期間 - お買い上げ日から１年間

■修理を依頼されるときは

19ページの「故障かな！？」に従ってご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

- **保証期間を過ぎているときは**

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後８年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

注）性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様ご相談センター

0120-878-365

フリーダイヤル（料金無料）年中無休／受付９時～20時

International Customer Care Center 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)
海外仕様商品(輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品)についてのご相談は....

TOKYO ☎ (03)3256-5444 AKIHABARA 秋葉原 1-8-1 Sotokanda Chiyoda-ku Tokyo	OSAKA ☎ (06)645-8787 NIPPOMBASHI 日本橋 4-10-2 Nippombashi Naniwa-ku Osaka

修理ご相談窓口

北海道地区

札幌 ☎ (011)894-1251 札幌市厚別区厚別南２丁目17-7	帯広 ☎ (0155)33-8477 帯広市西19条南１丁目7-11	函館 ☎ (0138)53-7107 函館市山の手１丁目1-15
旭川 ☎ (0166)31-6151 旭川市２条通21丁目左１号		

東北地区

青森 ☎ (0177)39-9712 青森市大字八ッ役字矢作1-37	岩手 ☎ (0196)39-5120 盛岡市羽場13地割30-3	山形 ☎ (0236)41-8100 山形市流通センター３丁目12-2
秋田 ☎ (0188)26-1600 秋田市御所野湯本２丁目1-2	宮城 ☎ (022)375-2512 仙台市泉区市名坂字清水端59-2	福島 ☎ (0243)34-1309 福島県安達郡本宮町字南ノ内65

修理ご相談窓口

首都圏地区

栃木 ☎ (028)632-8450
宇都宮市中央1丁目8-13

群馬 ☎ (0273)52-1217
高崎市萩原町沖中205-18

両毛 ☎ (0276)25-6870
太田市東新町244-1

水戸 ☎ (029)225-0119
水戸市柳河町309-2

つくば ☎ (0298)55-7860
つくば市梅園2丁目1-13

埼玉 ☎ (048)728-8960
桶川市赤堀2丁目4-2

千葉 ☎ (043)251-3537
千葉市稲毛区園生町369-1

船橋 ☎ (0473)34-5111
船橋市本中山6丁目11-7

柏 ☎ (0471)63-8905
柏市北柏1丁目7-6

東京 ☎ (03)5477-9780
東京都世田谷区経堂5丁目26-8

山梨 ☎ (0552)22-5171
甲府市下飯田2丁目1-27

神奈川 ☎ (045)847-9720
横浜市港南区日野5丁目3-16

新潟 ☎ (025)286-0171
新潟市東明1丁目8-14

佐渡 ☎ (0259)23-2898
両津市秋津字境108-1

長岡 ☎ (0258)28-2111
長岡市寺島町308-12

上越 ☎ (0255)44-6871
上越市大字藤野新田字大割353-3

中部地区

石川 ☎ (0762)94-2683
石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80

富山 ☎ (0764)32-8705
富山市寺島1298

福井 ☎ (0776)54-5606
福井市開発4丁目112

長野 ☎ (0263)58-0073
松本市大字笹賀7600-7

静岡 ☎ (054)287-9000
静岡市西島765

愛知 ☎ (052)614-3136
名古屋市南区西又兵衛町3-48

岐阜 ☎ (058)323-6010
岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30

高山 ☎ (0577)33-0613
高山市花岡町3丁目82

三重 ☎ (0592)55-1380
久居市森町字北谷1920-3

近畿地区

滋賀 ☎ (0775)82-5021
守山市勝部町260

京都 ☎ (075)672-9636
京都市南区上鳥羽石橋町20-1

大阪 ☎ (06)359-6225
大阪市北区本庄西1丁目1-7

奈良 ☎ (07435)9-2770
大和郡山市椎木町404-2

和歌山 ☎ (0734)75-1311
和歌山市中島499-1

兵庫 ☎ (078)272-6645
神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6

修理ご相談窓口

中国地区

鳥取 ☎ (0857)26-9695
鳥取市安長295-1

米子 ☎ (0859)34-2129
米子市米原4丁目2-33

松江 ☎ (0852)23-1128
松江市西津田2丁目10-19

出雲 ☎ (0853)21-3133
出雲市渡橋町416

浜田 ☎ (0855)22-6629
浜田市下府町327-93

岡山 ☎ (086)292-1162
岡山県都窪郡早島町矢尾807

広島 ☎ (082)295-5011
広島市西区南観音8丁目13-20

山口 ☎ (0839)89-4445
山口市大字佐山1120-1

四国地区

香川 ☎ (0878)74-6200
香川県綾歌郡国分寺町新名663-1

徳島 ☎ (0886)98-1125
徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108

高知 ☎ (0888)66-3142
南国市岡豊町中島331-1

愛媛 ☎ (089)971-2144
松山市土居田町750-2

九州地区

福岡 ☎ (092)593-9036
春日市春日公園3丁目48

佐賀 ☎ (0952)26-9151
佐賀市本庄町大字本庄896-2

長崎 ☎ (0958)30-1658
長崎市東町1949-1

大分 ☎ (0975)56-3815
大分市萩原4丁目8-35

宮崎 ☎ (0985)85-6530
宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2

熊本 ☎ (096)367-6067
熊本市健軍本町12-3

天草 ☎ (0969)22-3125
本渡市港町18-11

鹿児島 ☎ (099)250-5657
鹿児島市与次郎1丁目7-36

大島 ☎ (0997)53-5101
名瀬市矢之脇町10-15

沖縄地区

沖縄 ☎ (098)877-1207　浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0696

用語解説 （ディスクの説明書を併せてご覧ください）

Play Back Control：
あらかじめディスクに記録されているコントロールのことで、メニュー選びによる動画・静止画再生を可能にします。ビデオCDには、Play Back Control対応・非対応の2種類があり、ディスクの説明書やケースに種類が記されています。（2ページ）

メニュー（Play Back Control）再生：
メニューを選ぶことで、ビデオCDの動画や高精細静止画が楽しめる再生方法です。（8ページ）

通常再生：
メニューを使わずに、ディスクの最初から順に再生する方法です。（10ページ）

トラック（ナンバー）：
映像や曲の区切りのこと。各トラックに振られた番号をトラックナンバーといいます。（11ページ）

ビデオインデックス（ナンバー）：
1トラックの中をさらに細分化した区切りのこと。各ビデオインデックスに振られた番号をビデオインデックスナンバーといいます。（12ページ）

シーン：
Play Back Control付きビデオCDにだけ記録されている、メニュー、動画、静止画などの区切りのこと。各シーンに振られた番号をシーンナンバーといいます。（13ページ）

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　）　－	お買い上げ日	年　月　日
お客様ご相談窓口	☎（　）　－	品番	SL-VP50

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒571　大阪府門真市松生町1番4号　☎（06）909-1021

RQT2872-2S
F0295B5027（D）